



「ピースビルディング・ユース・プログラム（PYP）2025」募集要項

【開催趣旨】

UNESCO（国際連合教育科学文化機関）の掲げる平和な世界の実現に向けて、他者と協力しながら実社会でのアクションにつなげる「ピースビルディング・ユース・プログラム（PYP）」が今年スタートします。次世代を担うユースが主体となり、平和について学び・語り・行動を起こすプログラムです。

UNESCO 憲章の理念に共感する仲間と出会い、ともに未来へつながる一步を踏み出しましょう！

【テーマ】

全体テーマ：「Peace Begins from Our Next Step-記憶をつなぎ、対話から、行動へ-」

第1回テーマ：「私たちのための平和とは-過去からの気づきと学び-」

第2回テーマ：「つなぐ、届ける-私たちにできることをカタチにして社会へ発信する-」

【開催日・開催場所】

第1回（オンライン）2025年12月7日（日）13:00～17:30

第2回（対面：国立オリンピック記念青少年総合センター）2026年2月28日（土）13:30～19:00

2026年3月1日（日）9:00～13:30

【募集対象】

18歳以上35歳以下の大学生・大学院生・若手社会人等（居住地は問いません）で、以下に該当する方

- ◆ UNESCO 憲章の理念に基づいた平和構築や国内外の社会課題に関心のある方
- ◆ チームワークを大切に、様々な立場の人と協力しながら主体的に活動できる方
- ◆ 全日程に参加可能である方（2月28日～3月1日の1泊2日含む）

※経験やスキルは問いません。自ら考え、新しいことに積極的にチャレンジする人を歓迎します（高校生不可）

【募集人数】

30名程度 ※応募者多数の場合は書類選考を実施いたします。

【参加費】

3,000円（第2回の宿泊費[1泊]・夕食・朝食を含む）

【交通費】

参加者の皆さまに安心してご参加いただけるよう、第2回にかかる交通費の一部を支給いたします。

- ◆ 支給方法：実費精算（領収書提出必須）
- ◆ 上限額：10,000円／人
- ◆ 支給対象：自宅から会場までの往復交通費（公共交通機関に限る）
- ◆ 精算は全プログラム終了後、指定口座への振込にて行います。

※首都圏在住の方で往復交通費が上限に満たない場合は、実費分のみの支給となります。

【応募締切】

2025年11月10日（月）正午まで

【応募方法】

右記のQRコードから「2025年度PYP参加応募フォーム」より必要事項をご記入の上ご提出ください。

URL <https://forms.office.com/r/jycjtpqjPM>



【主なスケジュール】 ※プログラム内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

① 第1回(オンライン)2025年12月7日(日)13:00~17:30

時間	内容
13:00~13:15(15分)	オープニング・趣旨説明・実行委員紹介
13:20~13:30(10分)	アイスブレイク「自分にとっての平和とは？」
13:35~14:15(40分)	インプットセッション(戦争体験者とユースとの対談)
14:15~14:25(10分)	休憩
14:25~15:25(60分)	意見交換+グループワーク① ・講演を聞いて「平和に対する考えの変化」を共有 ・広島原爆のケーススタディと解決策を議論「なぜ次世代につなぐのか」
15:25~15:35(10分)	休憩
15:35~16:35(60分)	グループワーク②現代の社会課題をテーマに解決策を議論
16:35~17:10(35分)	全体発表+質疑応答
17:10~17:30(20分)	クロージング・第2回の案内

② 第2回(対面:国立オリンピック記念青少年総合センター)2026年2月28日(土)13:30~19:00

時間	内容
13:30~13:45(15分)	オープニング・アイスブレイク
13:45~14:15(30分)	第1回の振り返り
14:15~15:15(60分)	インプットセッション(UNESCO憲章と近年の社会課題の関連性)鈴木理事長
15:15~15:25(10分)	休憩
15:25~16:25(60分)	グループワーク①:課題選定と掘り下げ
16:25~16:35(10分)	休憩
16:35~17:35(60分)	グループワーク②:アクションプラン案作成
17:35~17:55(20分)	全体共有(各グループから進捗発表)
17:55~18:05(10分)	クロージング・翌日案内
18:10~19:00(50分)	参加者交流会

③ 第2回(対面:国立オリンピック記念青少年総合センター)2026年3月1日(日)9:00~13:30

時間	内容
09:00~09:10(10分)	オープニング
09:10~10:10(60分)	グループワーク③:発表資料の最終化
10:10~10:20(10分)	休憩
10:20~11:20(60分)	グループ発表(各6分+質疑6分×5グループ想定)
11:20~11:40(20分)	全体講評(大津理事ほか)
11:40~11:55(15分)	プログラム全体の振り返り
11:55~12:25(30分)	クロージング・活動修了証案内
12:30~13:30(60分)	交流会(自由参加)

※PYP終了後の参加者各自のアクションプランは日本ユネスコ協会連盟のホームページで掲載を予定。

【本プログラムに参加すると・・・】

- ・修了者には「活動修了証」を交付。
- ・他大学・他地域のユースとのネットワーク構築が可能。
- ・平和構築・社会課題に関する深い学びと具体的な行動スキルの習得。
- ・日本ユネスコ協会連盟をはじめとするユネスコ活動への参画情報等をメールでお知らせ。

【コーディネーター】

大津和子（日本ユネスコ協会連盟理事）

【実行委員会メンバー】順不同

笹島真樹（城西大学） ※委員長

井上海（仙台ユネスコ協会青年部、東北大学）

江原朋花（青山学院大学 Le lien）

川上寛人（岡山理科大学大学院、次世代ユネスコ国内委員会）

國松和明（創価大学ユネスコクラブ）

小宮澄夏（東京学芸大学）

齊藤楓（青山学院大学 Le lien）

谷川原環（法政大学）



皆さんとともに、平和の価値
を再認識し、未来を切り拓く
道を築いていきたいです！

笹島委員長からのメッセージ

【主催】

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

【特別協力】



【問い合わせ先（事務局）】

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12 階

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 組織部事業推進課 PYP 担当：尼子、日下部

メール：j-sui@unesco.or.jp TEL：03-5424-1121 平日 9:30～17:30

★民間ユネスコ運動とは★

民間ユネスコ運動は、戦後生まれた国連教育科学文化機関（以下、UNESCO）の憲章に示された理念に賛同した市民の自発的な平和運動として、1947 年 7 月、世界に先駆けて仙台市で生まれました。当初の目的は、敗戦後の日本が平和国家として再建を果たし、UNESCO に加盟することを通して国際社会に復帰することでした。運動は瞬く間に全国に広がり、1951年に日本が 60 番目の UNESCO 加盟国として迎えらるることに大きく貢献しました。加盟実現後も、全国各地のユネスコ協会のネットワークである日本ユネスコ協会連盟を核として、UNESCO 憲章の理念の実現をめざし、教育や文化を通じた平和構築のための活動を展開しています。

◆UNESCO 憲章 前文 ◆

この憲章の当事国政府は、その国民に代って次のとおり宣言する。
戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。
相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。
ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。
文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。
政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われぬためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。
これらの理由によって、この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致し及び決意している。
その結果、当事国は、世界の諸人民の教育、科学及び文化上の関係を通じて、国際連合の設立の目的であり、且つその憲章が宣言している国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するために、ここに国際連合教育科学文化機関を創設する。